

27日 火曜

ヨエル

2:18 【主】はご自分の地をねたむほど愛し、ご自分の民を深くあわれまれました。

2:19 【主】は民に答えられた。「今、わたしは穀物と新しいぶどう酒と油をあなたがたに送る。あなたがたはそれで満ち足りる。わたしは二度とあなたがたを、国々の間でそしりの的としない。

2:20 わたしは、北から来るものをあなたがたから遠ざけ、それを荒廃した砂漠の地へ追いやる。その前衛を東の海に、その後衛を西の海に。その悪臭は立ち上り、その腐った臭いは立ちこめる。主が大いなることを行ったからだ。」

2:21 地よ、恐れるな。楽しみ、喜べ。【主】が大いなることを行われたからだ。

2:22 野の獣たちよ、恐れるな。荒野の牧草が萌え出で、木が実を実らせ、いちじくとぶどうの木が豊かに実る。

2:23 シオンの子らよ。あなたがたの神、

【主】にあって、楽しみ喜べ。主は、義のわざとして、初めの雨を与え、かつてのように、あなたがたに大雨を降らせ、初めの雨と後の雨を降らせてくださる。

2:24 打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油であふれる。

2:25 「いなご、あるいは、バッタ、その若虫、噛みいなご、わたしがあなたがたの間に送った大軍勢が食い尽くした年々に対して、わたしはあなたがたに償う。

2:26 あなたがたは食べて満ち足り、あなたがたの神、【主】の名をほめたたえる。主があなたがたに不思議なことをするのだ。わたしの民は永遠に恥を見ることのない。



2:27 あなたがたは、イスラエルの真ん中にわたしがいることを知り、わたしがあなたがたの神、【主】であり、ほかにはいないことを知る。わたしの民は永遠に恥を見ることはない。

2:28 その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。

2:29 その日わたしは、男奴隷にも女奴隷にも、わたしの霊を注ぐ。

2:30 わたしは天と地に、しるしを現れさせる。それは血と火と煙の柱。

2:31 【主】の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。

2:32 しかし、【主】の御名を呼び求める者はみな救われる。【主】が言ったように、シオンの山、エルサレムには逃れの者がいるからだ。生き残った者たちのうちに、

【主】が呼び出す者がいる。」

ヨエル書は神のさばきを主題とする預言の書です。ホセアのような徹底的な赦しをテーマとする書もありますが、このようにさばきが明確にされることによって、主の赦しのすばらしさと驚きが際立つのです。主のさばきの厳かさを知らない人は、赦しと救いの感謝も希薄になってしまいます。

ですから主への恐れをいつも忘れないようにしましょう。それと同時に主の赦しはもっと大きく、それは無限の愛によるのだということ、そして自分自身がその愛で愛されているということ、いつも感じていきましょう。

ここではさばきの後の赦しについて伝えて預言されています。さらにはその後の主の御計画についても述べられています。赦された私たちには主の祝福と尊い使命があるのです。自分自身の人生がこのような偉大な御計画の中にあることに、心躍らせながら、主の御計画を担って生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

